

ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、
<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/吉田 史 (Ubuntu Japanese Team)
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.01」
(<http://ubuntu.asciimw.jp/>) 2009年9月29日発行

今度のコアラは神速コアラ!?

10月末リリースの新バージョンをひと足お先にチェック!!

アーリープレビュー

Karmic Koalaってこんなリリース!

コードネームは
霊的なコアラ!?

Ubuntuは半年に一度、4月と10月にリリースされている。次期バージョン9.10は、'09年の10月に公開されるので、9.10となるわけだ。

さて9.10、コードネーム「Karmic Koala」(霊的なコアラ)は、銀色(コアラ色?)を中心にしたデザインなどの「見た目」、最新カーネルや起動時間の削減、ext4の採用などの裏方機能、そしてUbuntu Oneの正式サービス開始に加え、「Hundred Paper Cuts」プロジェクトによる使い勝手の向上など、見どころいっぱい。アップデートとなる予定だ。位置づけとしては、「よりパワーアップした9.04」という感じになる。

ベータ版から試してみるのがひとつの手

当然ではあるが、Ubuntuも他のOSと同じく、正式リリースの前に「ベータ」や「リリース候補」版を公開している。今すぐ9.10の新機能を体験したければ、本誌発売の2日後、10月1日に公開

リリース・スケジュール

9月17日

アルファ6リリース

9月24日

ベータ版のリリース準備・各種壁紙・アイコンの完成

10月1日

ベータ版リリース・ヘルプなどの英語版完成

10月15日

カーネルの確定・Language Pack以外の部分の翻訳バッチ

10月22日

リリース候補(RC)版リリース・Language Pack部分の翻訳バッチ

10月29日

Ubuntu 9.10
「Karmic Koala」
リリース!

■新機能が盛り込まれ始めるベータ版からが試して楽しいテスト版!?

情報ソースはここでGet!

●新機能の開発状況

<https://wiki.ubuntu.com/FoundationsTeam/ReleaseStatus/Karmic#Status%20by%20Priority>

●スケジュール

<https://wiki.ubuntu.com/KarmicReleaseSchedule>

●Hundred Paper Cuts

<https://launchpad.net/hundredpapercuts>

されるベータ版を試してみよう! Ubuntuではベータ版やリリース候補版を使い続けてアップデートをしていけば、そのまわりリリース版相当になるので、正式リリース後に再インストールする必要もないのだ。ただ、開発者向けリリースなので、突然動かなくなったりする可能性もある。実験用のマシンを準備して人柱になる覚悟をしてから試すようにしよう。

それでは、1ヵ月後、10月29日リリースの最新版、Ubuntu 9.10の最新機能をさっそくチェックしてみよう!

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 01

高速起動に
磨きがかかる!
ツノウサギより
3秒も速い!!

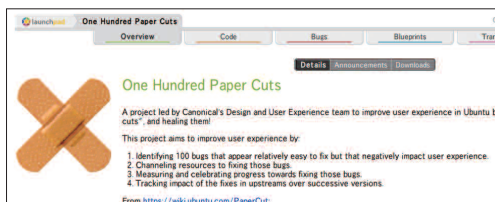
0.1秒を削る努力が
積み重なって3秒短縮!

次期バージョン9.10の目玉のひとつは、現バージョン9.04からさらに高速化されたブート時間だ。開発者が0.1秒単位で短縮を積み重ねた結果、ほとんどの環境で2.5〜3秒ほど起動時間が短縮されている。現バージョン9.04「Jaunty Jackalope」(俊敏なツノウサギ)で起動速度が一気に短縮されたが、そこからさらに起動時間を短縮した、というわけだ。ちなみに標準的なスペックのネットブックでは、9.04の起動時間は約25秒と言われている。ここからさらに2〜3秒が短縮されるわけで、モバイルPCでもスリープではなく、安心して電源をオン・オフできる高速起動と言えるだろう。

また、単純な起動時間の短縮だけでなく、起動画面やログイン画面のデザイン変更によって、体感時間ではもっと短く感じるようになっていく。

ちなみに10.04では、「ネットブックでも起動が10秒で完了すること」が目標になっているので、「次」にはもっと高速ブートが実現する予定だ。

Hundred Paper Cuts



■ユーザの報告がダイレクトに反映されるのうれしい。 <https://launchpad.net/hundredpapercuts>

使い勝手がアップ! 小さな問題を100個修正

「Hundred Paper Cuts」は「ちょっとしたことだが、使い勝手を損ねるバグ」を徹底的に直す、というプロジェクトだ。「Paper Cuts」は「紙で切ってできた傷」という意味なので、これは「100個のちよつとした切り傷」のこと。9.10の開発では「ファイルを選択して「切り取り」を選んでWindowsやMacのように半透明にならない」など、実際に100個の「バグ」があげられ、徹底的に修正されているのだ。

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 02

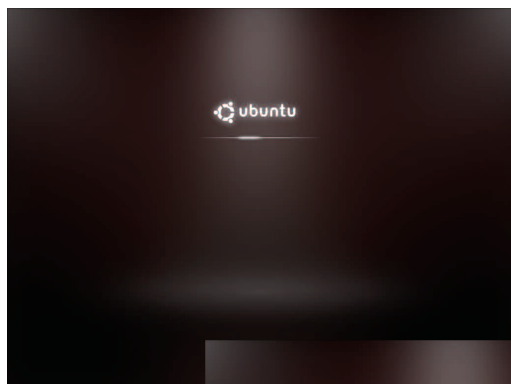
100個のキズを
直したら
使い勝手が
大幅アップ!

Ubuntu 9.10

Karmic Koala

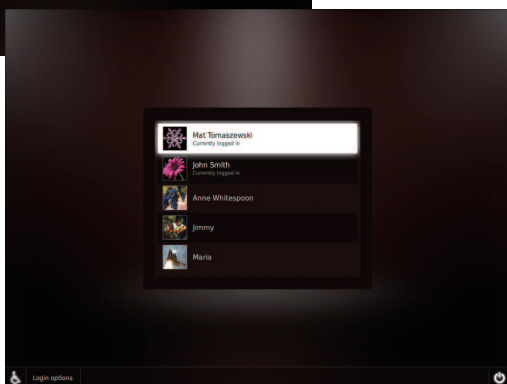
10.29 Release

●文/吉田 史 (Ubuntu Japanese Team)



こんな感じのデザインに？

◆スプラッシュとログイン画面のイメージ。赤、オレンジ、黄色は使われず、高級感も感じられるシャープなイメージのデザインにまとめられそう。



シャープなイメージのデザインが採用される

これまでのUbuntuのテーマ色は「茶色（濃いオレンジ）」が中心になっていたが、9.10の起動画面は銀と黒を中心に、白を効果的に使った、まったく新しいデザインが採用されることになっている。掲載している画面はリリース

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 03

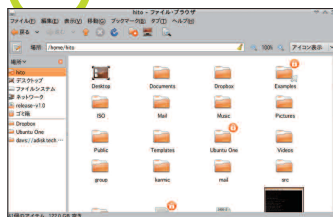
**茶色よ今までありがとう！
デザインがカッコよく**

時期の関係でまだ確定版のデザインではないが、サンプル画面に注目してほしい。親しみやすいというよりは、シンプルでシャープなデザインになりそうなイメージに仕上がっている。

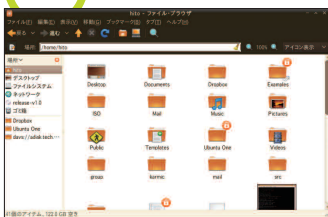
また、ウィンドウのデザインはオレンジ中心の「Human」のままだが、「community-themes」パッケージを追加すると、シルバークの「Turricean」、黒中心の「Hanso」そして独特のデザインの「Impression」と「Kin」が利用可能になる（ImpressionとKinは9.04でも利用可能だ）。特にHansoはアイコンも変更されるテーマなので、新バージョンにあわせて気分を変えて使いたいときにはぴったりのう。

新デザインのテーマも増えて、使う楽しみもアップ！

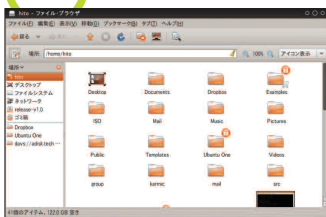
Turricean



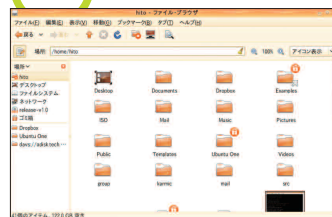
Hanso



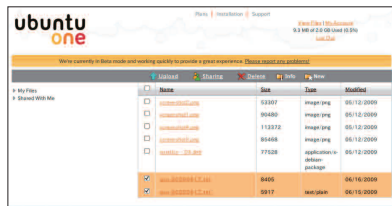
Impression



Kin



ウェブからも利用可能



◆ネットさえつながっていれば、Windowsからでも自分のPCの「Ubuntu One」ディレクトリを自由に使えるのがうれしい。

Ubuntu One



<https://ubuntuone.com/>

◆ベータサービスだが、9.04でもサイトで登録すれば利用は可能だ。

オンラインストレージが標準で使えちゃう！

Dropboxに似た「Ubuntu One」というオンラインストレージを搭載。ホームの「Ubuntu One」ディレクトリに保存したデータは、ネット経由で他のマシンと自動的に同期される！

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 04

**2GBの
オンライン
ディスク付き！
Ubuntu One**

Ubuntu Netbook Remix



Kubuntu Netbook Remix



**ネットブックなら
Ubuntuにおまかせ!**

大きなアイコンにワンクリックで起動するランチャ。ネットブックでの使い勝手に配慮したデザインの「Ubuntu Netbook Remix」は9.10でも強化されている。今までのデザインでは、左にアプリケーションメニュー、真ん中にランチャ、右側にファイルやフォルダ操作のメニューが並ぶ3ペインのデザインだったが、それを一新。

デスクトップ環境としてGNOMEの代わりKDEを使う、Ubuntuの兄弟、Kubuntu。これまではネットブック向け環境が用意されていなかった。9.10からはKubuntu版Netbook Remixが準備されるようになったので、KDEファンも安心だ。Plasma ネットブックを元にした「News Paper」と「サーチ&ローンチ」機能が特色で、「NewsPaper」は天気、カレンダー、ニュース、メモなどを自由に配置できるウィジェットの

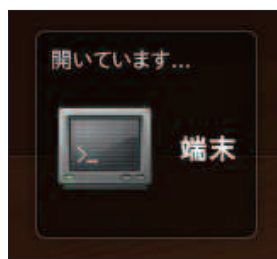
Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 05

**ネットブック
に入れるなら
Netbook
Remix!**

デルカスタマイズ版Ubuntuの技術を使った、新しいランチャが搭載され、左側にメニュー、右側にランチャという2ペイン構成に変更されている。ランチャ画面自体も、壁紙のデザインがわかる程度に明るく透過されるようになった。すっきりしたわかりやすいデザインは、ネットブックの狭い画面を使いやすくしてくれる。

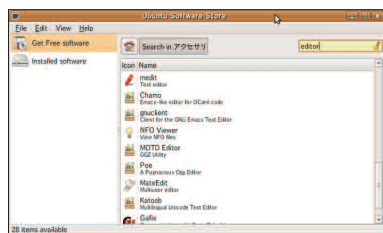
アプリ起動中



■アプリの起動途中をわかりやすく表示、ネットブックでも安心。

レイヤーのようなもの。「サーチ&ローンチ」は双眼鏡アイコンをクリック、単語を入力するとウェブ検索やアプリケーションの起動ができる、CUIベースのランチャ「KRunner」をフィーチャーした機能だ。ウィンドウの透過表示などKDEらしさが発揮されているデザインも魅力となっている。

ソフトの検索



■「追加と削除..」と同様に、検索して追加。あれ、人気度がなくなってる。

ソフトのカテゴリ



■アプリケーションのカテゴリは今までも変わらず、GNOMEメニューと同じだ。

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 06

**アプリの
インストールが
さらに
カンタンに!**

アプリインストールの 決定版参上!

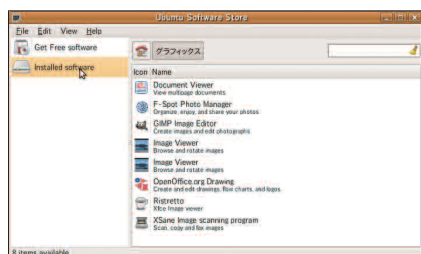
これまでUbuntuでソフトを追加する場合、「アプリケーションの追加と削除」と「Synaptic」の両方が使える、結局どちらを使えばいいのかわからない状態が続いていた。9.10以降、いずれ「gdebi」や「AppStream」の管理機能なども統合される予定で、ソフトのインストールや管理がさらにわかりやすくなる。

ばいのか戸惑うユーザも多かったはず。9.10ではインストール操作の決定版として「Software Store」というアプリが準備され、ソフトの追加と削除の方法が一本化されるようになる予定だ。

ポイント、「アプリケーション」メニューと同じようにグループに分けられていて、「アクセサリの中にあつたアレどこだっけ?」という探し方が可能なこと。

9.10以降、いずれ「gdebi」や「AppStream」の管理機能なども統合される予定で、ソフトのインストールや管理がさらにわかりやすくなる。

インストール状態



■インストールしたソフトは一覧表示され、すっきり把握できるようになる予定。

これは完成版 ではありません

現在、カノニカルの人たちが急ピッチで開発中。チョー頑張ってるので、完成版は別の見た目になる可能性が高いのだ!

Ubuntu 9.10 アーリープレビュー

Karmic Koala

今までUbuntuで気軽に行うのが難しかったのがSDカードやUSBメモリのフォーマット(初期化)。「gparted」を使う人が多かったのだが、うっかりしているとHDDをフォーマットする危険性もあった。9.10で新しく

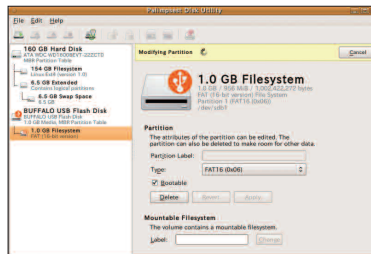
メディアは右クリックからフォーマット!

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 08

ディスクの
取扱い方法が
もっと
イージーに!

ディスクもすっきり一覧



■これでHDDやメディアの取扱いがより簡単になる。

「Disk Utility」が導入されることにより、ディスクやメディアもわかりやすく表示されるようになる。やっとなんか言え、メディアのアイコンを右クリックし、コンテキストメニューの「フォーマット」からフォーマットすることもできるようになる。

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 07

ファイル
システムは
ext4が
デフォルトに

デフォルトがext4



■9.10 Alpha4の「Disk Utility」画面。「/ (ルート)」が「ext4」になっているのがわかる。

9.04で新規に採用され、インストール時に選択することで利用できたext4ファイルシステムが、ついにデフォルトで利用されるようになる。9.10からは、Ubuntuを新規インストールすると、特に指定しなければパーティションは

ext4でフォーマットされる、ということ。ext4を使うことで、ディスク性能がさらに引き出せるようになる。起動時に行われるファイルシステムチェックの時間も大幅に短縮されるのだ。これでESCキーを押す機会も減る!?

意外と大きな変化が

Pidgin → Empathy

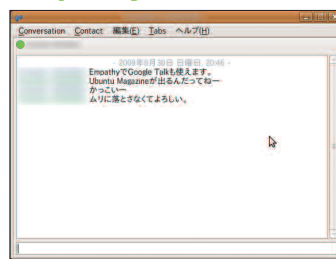
Rhythmbox → Banshee

scim-anthy → ibus-anthy

新規 → Disk Utility

■scim-anthyなど、日本語入力の仕様にも変更が起きている。

Empathy



■Pidginに取って代わるIMソフト。見た目はPidginそっくり。

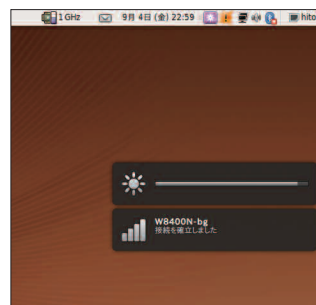
いくつかの標準アプリに変化が起きている。特にマルチメディア関連やIMなどは、「より使いやすい」ものにならなっている。なお、レギュラー落ちした「Pidgin」の鳩ボップ、追加インストールで復活できるので心配なく。

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 09

鳩もサヨナラ!?
標準のソフトが
変わったり
増えたり!

新・NotifyOSD



■同時に複数の通知が表示されるようになるのだ。

9.04から採用された通知ウィンドウ「NotifyOSD」がさらにパワーアップ! これまでより少し細くならず、画面上で余計なスペースを取らないようになったうえ、「情報」系の通知(無線LANの接続や各種アプリからのメッセージ)と、ユーザーが自分で行った「操作の反映」の通知(音量の調整や画面輝度の調整)が、それぞれ個別に表示できるようになり、カッコよさもわかりやすさもアップしているのだ。

Twitterの
つぶやきもスマートに!?

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 10

お知らせ表示が
いちだんと
スマートに
美しく進化!

ARM搭載機にも
簡単インストールだ!
スマートブックなどで使われるARM系CPUでも使えるように、Ubuntu DesktopのARM版が用意される。対応CPUは2種類。『Freemove i.MX31』と『Marvell Dove』搭載機種にインストールできるようにするのだ!

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 12

ARM版
Desktopが
リリース!
この秋はアツイ

インテルドライバを使う環境では新しいカーネルのKMS (Kernel Mode Setting) 機能を使い、Xベースの高解像度ブート画面が表示され、起動画面がよりキレイになる。ATI、NVIDIAはまた実験中。間に合わないかも。

スプラッシュ画面が
カッコよくなりそう

Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Point 11

高解像度
ブート画面が
使えるように
なる人も!